

講義名	英語精読（総合）			授業形態	
担当教員	藤岡 千伊奈	開講期・曜日・時間	後期 木曜日 4 時限		
		単位数	2	履修開始年次	2 年生

#### 主題と概要

社会ではグローバルな環境で即戦力として活躍できる人材が求められています。そのため、英語力と異文化知識を身につけることが不可欠です。このコースでは、好評のノン・フィクションのテキストを用いて、初級レベル（TOEIC 250・400）のリーディング力を習得することを目指します。授業は精読なので、細かいところまで深く読み、リーディング問題を解いて、内容理解を確認していきます。また、自覚通りでなく、特に興味深いユニットを厳選して読んでいきます。精読のテキストは、分からない語彙は、辞書で調べて予読して来る必要があります。授業前半には、近年、最も注目されている英語学習法の多読（ペース）を毎回20分導入し、各自の英語習得レベルに合った英書を読み、自律学習を身に付けてもらいます。時々、ペア・グループで行う多読のアクティビティを取り入れ、各自の口頭発表も行います。授業は、講義ではなく、学生による授業参加型の授業なので積極的に授業に挑むように。皆さんの前向きな姿勢・努力は成績に反映されます。

\* コロナ禍の影響で授業内容が変更する可能性があります。

#### 到達目標

1. 総合的なリーディング・スキル（スキミング等を含む）を習得できるようになる。
  2. リーディングを通じて、文法・語彙・熟語力を高めることができるようになる。
  3. リーディングを通じて、グローバルな視点から異文化知識を高めることができるようになる。
  4. 多読では、平易な英語の本をできるだけ多くに読んで理解できるようにする。
- \* オンラインでの受講では、到達目標を達成することが難しい科目であるため、オンデマンドでの開講はできない。

#### 提出課題

授業内で適宜指示する。

#### 課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

提出課題に直接コメントを書いてフィードバックします。また、授業内で全体的、または個人的に講評・解説します。

#### 評価の基準

- 1) 授業参加度・授業姿勢 10%
- 2) 多読記録 20%
- 3) 小テスト 20%
- 4) 課題・口頭発表 20%
- 5) 学期末試験 30%

\* 5回休んだ時（途中退室も含め）、自動的に不可が決定し、学期末試験は受けられない。

#### 履修にあたっての注意・助言他

1. このクラスは、長文の英文を読んで理解できない学生には勧めません。
2. 新しい教科書を購入しないと単位は取れません（古本不可）。
3. 講師・連絡を常にチェックするように。
4. 第1回目の授業で、「多読ガイド」を行い、重要な詳細を説明するので、必ず出席するように。
5. 多読では、読んだ本の内容を日本語、または英語でまとめて書かなければならないので、書くことが難しい学生には受講を勧められません。

\* 著作権の問題で、ライブ配信の授業になった場合、教科書購入は必須です（よって、自国において教科書が入手できない留学生は履修できません）。

#### 教科書

.Reading Advantage 1 3rd Edition .	Casey Malarcher	セングージ出版		978-981-4336-53-6
------------------------------------	-----------------	---------	--	-------------------

#### 参考図書


#### その他

必要に応じて授業中に指示します。

#### 授業計画

- 回 授業計画
- 1 Course Guidance・自己紹介
  - 2 Unit 1 Lions
  - 3 Unit 1 Lions
  - 4 Unit 2 Ramen
  - 5 Unit 2 Ramen
  - 6 Unit 6 Valentine's Day
  - 7 Unit 6 Valentine's Day 多読記録中間報告
  - 8 Unit 16 Breakfast
  - 9 Unit 16 Breakfast/poster presentation
  - 10 Unit 18 Blood Types
  - 11 Unit 18 Blood Types
  - 12 Unit 15 The Mona Lisa
  - 13 Unit 15 The Mona Lisa
  - 14 Unit 12 多読口頭発表 (extra day if needed)
  - 15 Unit 12 多読口頭発表・多読記録最終提出

\* 感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止される受講者は、Zoomライブ配信授業に参加となる(オンデマンドではない)。

\* 授業の進捗状況により、授業計画が変更する可能性があります。

#### 授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
<input type="radio"/> ウ：ディスカッション、ディベート	<input type="radio"/> エ：グループワーク
<input type="radio"/> オ：プレゼンテーション	カ：実習、フィールドワーク
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

#### 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

「2単位の講義では、1回の講義について4時間の自己学習が必要」とされているので、この時間を授業外多読と読書記録の語数計算と点検、及び、テキストの語彙の予習と課題・小テスト前の復習に使用してください。

#### 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

本コースでは、グローバル社会の様々なトピックを扱うノンフィクション教材を用いて異文化知識・英語の読解力及びリーディング力の向上を図ることににより、卒業時に身に付けておくべきグローバル社会が必要とされる読解・コミュニケーション能力の育成を目指す。これらの能力は、留学生に求められる「各業界の動向や問題点を理解するための基礎知識」、経済学部生に求められる「経済にまつわる情報分析の力」、人間社会学部生に求められる「社会の仕組みや働き、日常生活と文化、人々の心理等」の様々なテーマに取り組みこ、コミュニケーション能力の修得につながる。

#### 双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

#### 実務経験の有無及び活用

#### 備考

\* 感染者または濃厚接触者に指定され、一時的に通学が禁止される受講者は、Zoomライブ配信授業に参加となる(オンデマンドではない)。